

第 2 2 回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

|   |  |
|---|--|
| 1 | <p>そもそも、外環の 2 は要らない道路である。(外環の 1 もだが・・) 私たちは緑豊かな今の環境を大事にしたいと願っている。環八沿いのような空気の悪い、騒音の多い道路ができるのは、到底許すことができない。子や孫たちにも、なによりも良い環境を残すことが責務だと考えている。車は今後減っていく。従って外環は全く必要のない道路である。国も都も、赤字財政で今後たいへんなのに、何故反対の声を踏みにじってこんな道路に巨額の金を投じようとするのか理解できない。こんなムダをせず高齢化に備え、福祉の充実に税金をあててもらいたい。</p> <p>従って参考資料 5 の①、②③とも、問題にならない。廃止するのが妥当であろう。(地震の時の防災云々・・・というが、そんな道路がある方が震災時、車やタンクローリーの引火等で危険が増すだけ。道路自体が火の帯となってしまう。) [資料 10-9] から見てもこの理由は成り立たない。また“お隣の区市とつながる道路”と書いてあるが、こんな道路ができれば、却って地域コミュニティが分断されてしまう。</p> |
| 2 | <p>議論を聞いても、何のための道路なのか不明。都は、道路を作るために道路を作るつもりなのか？動機が不明。そんな道路が廃止になる可能性があるのかが、私の関心の焦点。</p> <p>緑の多い閑静な住宅地である東町 3 丁目の住民としては、ただただ迷惑かつ不愉快な話である。</p>  |
| 3 | <p>成田部長が約束した、地上部街路と本線を合わせて都市計画変更するということがほごにされたことと理由と、そう決まったのはいつなのか。PI 委員は了解したのか。他の機関は了解したのか不明。結局いいように進めただけでは。</p> <p>外環の 2 が必要性がないことは明らか。廃止すべきである。</p>   |
| 4 | <p>外環の 2 は必要な道路である</p> <p>早期に整備してほしい</p>   |
| 5 | <p>廃止も含めての検討、議論を続けているとの武田課長発言があった。</p> <p>加えての要望がある。</p> <p>道路について住民と対話を行うのなら、廃止案を含め、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複数の案を提示する</li> <li>2. それぞれの案にメリット・デメリットを記す</li> <li>3. メリット・デメリットの根拠を明らかにする</li> </ol> <p>ということも、同時にやってほしい。その意味で代替案はすでに提示すべき時期と考える。</p>  |

|   |  |
|---|--|
| 1 | <p>1. 外環2の問題は道路の必要性の有無ではなく外環本線の凍結解除をめぐる行政側の謀略にその発端があることをあらためて想起すべきである。即ち10数年前の石原都知事の時代に“地元住民の同意がない限り凍結”とされていた外環本線を何としても造りたいとの一念で“地中化するので、地上の道路計画は地元の意向に委ねる。廃止しても構わない。”と喧伝した。（こゝではネットワークとか防災など一言も云っていない。）これを受けて立退きが避けられるならば、と住民側は渋々ながら凍結解除やむなしとしたのである。ところが本線の問題が決着したと見るや、東京都は、やはり地上の道路はつくと云い出した。あきれた2枚舌である。行政のやることではない。武蔵野市の話し合いの会の住民構成員全員の反対が明らかになっているのだから、外環2計画は廃止しか正解はない筈だ。</p> <p>2. 東京都の地上部街路の必要性の説明は道路づくりの一般論の域を出ておらず、全く説得性がない。現地の近辺には井の頭公園、善福寺公園のほか、小公園や学校の緑地が多く、また庭木を持ち耐火壁で囲われた住宅が立ち並んでいる。緑化・防災対策の優先度の最も低い部類の街である。住民が100年以上もかけて作り上げた整った数千軒の街でありコミュニティである。これを出来上がったあとからつぶすことの損失をどう考えているのか。先進国では考えられない乱暴な計画。他の先進国にこんな事例があったら開示してほしい。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p> |
|---|--|